

教育・子育て

●スマイルパーク保原とファミリーパークだてを予約制にしてほしい。土日の開始 40 分前には駐車場が満車、30 分前から並ばないと入場制限で入れなくなる。また、現状の定員では思いっきり遊ぶことができない。

屋内こども遊び場において、入場制限等によりご利用をお断りすることもあり、皆様には大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。「スマイルパークほばら」と「ファミリーパークだて」については、利用者の多い週末などに利用開始前から多くの方が並び、定員に達することが多々ありますので、各施設の状況を踏まえ、その対応を検討してまいります。また、各施設の定員については、消防法による収容人員の 50%を目安に、少しでも多くの方々に利用いただけるよう設定しております。市としましては、これからも利用者が快適で安全な遊び場の提供に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

●長期休校中の小学校の預かり拠点で昼食提供をお願いできないか。長期休校中は学校給食がでないため、弁当を用意する必要があり、子育て世帯の負担が大きい。

伊達市内には、市立と私立あわせて 13 の放課後児童クラブがあり、児童の育成支援に取り組んでいます。学校の長期休業中の昼食提供に関して、全国的に見ると、一部の都市部を中心に取り組んでいる自治体があります。昼食提供を行う場合には、安定的に提供できる調理業者の手配や費用負担などの課題も多く、伊達市では現在のところ提供することが難しいことから、先進事例等を参考に調査研究してまいります。今後も、安心して利用できる放課後児童クラブの運営に努めてまいりますので、ご理解くださるようお願いいたします。

●市内保育園でのおむつのサブスクリプションサービスの導入を提案したい。保護者の負担軽減や保育士の業務効率化につながると思う。

おむつのサブスクリプションサービスは、子育ての負担を軽減する新たな取り組みとして注目を集めています。一方、お子さんに合うおむつの種類やサイズ、使用量などの確認と管理、さらには費用負担の公平性等、多くの課題もあります。

市内の公立園での実施については、先行自治体の取り組みや保護者のご意見を広くお聞かせいただきながら、参考としてまいります。今後とも、伊達市の教育保育行政にご理解くださるようお願いいたします。

●保原中央交流館の図書室について、4月から10冊まで借りられる事になったのを知り、とても嬉しく思った。しかし、4月から雑誌の購入が中止された事を知りとても残念に思った。今回、週刊誌と月刊誌の購入廃止を決定した理由を教えてください。

伊達市立図書館では、多くの市民にご利用いただけるよう、幅広い年齢層や様々な分野に対応した図書を選書し、蔵書の充実を図っております。特に、より長くご利用いただける図書の導入を進めております。

令和6年度には、市立図書館で42誌、保原中央交流館図書室で6誌の合計48誌の雑誌を配架しておりました。しかし、令和7年度からは閲覧期間の短い週刊誌などの雑誌を見直し、長期間ご利用いただける月刊誌を中心に37誌を市立図書館に配架することにしました。なお、保原中央交流館の図書室には、一定期間過ぎた月刊誌を配架します。今後も、市民にとって利用しやすい図書館の運営を行ってまいりますので、ご理解くださるようお願いいたします。